



◀ 応援に来た保護者も楽しく参加（嬰鳴小）



▲ 競技名のとおり「ガチンコ」で勝負（二中）

エールに応じて熱戦を展開！



▲ ゴールを目指し激しい競り合い（中央小）

空が高く感じられるようになり、秋の陽気となってきた9月、市内小中学校で運動会が行われました。各学校は工夫を凝らした独自の内容で、個性豊かな運動会を開催。参加した生徒たちや、応援に来た家族などは大いに盛り上がっていました。

目指せ世界 前全日本女子監督が卓球指導

来年、千葉県で開催される国民体育大会を目前にして、小・中・高校生の強化育成を図ろうと、(財)日本卓球協会主催の卓球普及活動が9月12日、旭市総合体育館で開かれました。旭スタークラブⅡや市内出身者を含む県内女子児童・生徒41人を、今年の前期日本リーグで優勝したサンリツ卓球部総監督の近藤欽司さん（前全日本女子監督）と選手ら4人が指導。阿部恵選手と打ち合った児童は、「もっと体を使って打つように、と教えてもらった。阿部選手は、打ち合っても安定感がすごい」と、一流選手のすごさを肌で感じていました。



◀ 阿部選手（右から二人目）から熱心な指導を受ける子どもたち

収穫の秋を実感 家族で稲刈り

幽学の里で米作り交流事業



▲ 次々に稲を刈り取る子どもたち

5月に植えた苗もすっかり黄金色に色付いた9月6日、大原幽学ゆかりの水田（長部）で、家族連れなどによる稲刈り体験が行われました。都市住民との交流を深めようといわれるこの事業に、今年はおよそ800人が参加。かすりの着物を着た子どもたちは、一株ずつ鎌で刈り取っては、「上手に刈れた」と笑顔を見せていました。刈り取った稲は精米し、10月10日の収穫祭で味わいます。

サッカー日本代表で活躍

デフリンピック台北2009

聴覚障害者の国際スポーツ大会「デフリンピック」に、村上祐太郎さん（イ）がサッカー日本代表として出場しました。男子チームは、アジア予選を勝ち抜き二度目の本大会出場。デフリンピックのような世界大会では、日本ろう者男子サッカー史上初となる勝利を収めるなど健闘しましたが、12位で大会を終えました。

村上さんは金沢市出身で、生後8か月のとき水痘にかかり、その後ほとんど耳が聞こえなくなりましたが、小学2年生からサッカーを続けています。



◀ 代表メンバーと（左）

県予選突破！全国大会へ ※敬称略

○第28回全日本クラブ卓球選手権大会
 (9/20~23・群馬)
 [団体戦女子小中学生の部]
 旭スタークラブⅡ



▲前列左から高根実菜加(一中1年)、井上優香(矢指小4年)、高橋侑子(富浦小6年)、後列左から高上友里(二中1年)、西野美里(一中2年)、宮内菜々美(一中1年)

○JOCジュニアオリンピック陸上競技大会(10/23~25・神奈川)
 [女子円盤投] 高橋 舞(二中3年)
 [女子1年砲丸投] 鈴木 夢(二中1年)



▲県予選会で優勝し全国へ進んだ、高橋 舞(左)と鈴木 夢(右)

○JOCジュニアオリンピックカップ2009平成21年度全日本卓球選手権大会(カデットの部)(11/13~15・広島)

[女子シングルス] [女子ダブルス]
 林めぐみ、加瀬涼華

○全日本卓球選手権ジュニアの部(1/12~17・東京)

[女子シングルス] 加瀬涼華、林めぐみ



▲二つの全国大会への切符を手にした、加瀬涼華(一中2年・左)と林めぐみ(一中2年・右)。ダブルスではペアを組んでいます。

ドイツ“デュッセルドルフ市”と卓球交流

デュッセルドルフ市卓球交流

千葉県と交流のあるデュッセルドルフ市の卓球選抜チームの選手と役員10人が、8月26日から4日間旭市を訪れ、市内の子どもたちと卓球交流を図りました。

ドイツ国内でもトップレベルという12歳~15歳までの男女8人の選手たち。そのプレーを少しでも自分のものにしようと、市内の子どもたちも真剣なまなざしで合同練習や交流試合に臨んでいました。また、陶芸体験やバーベキュー、海上中吹奏楽部の演奏など、旭市の子どもたちと交流を深めたデュッセルドルフの選手たちは、競技中とは違った子どもらしい笑顔を見せ、リラックスした雰囲気の中で滞在を楽しんでいました。



▲海上中卓球部との合同練習

おいしい米粉ケーキに大満足

米粉を使った料理教室



▲かき混ぜたチョコレートから広がる甘い香りがおいしそう



▲米粉のケーキ完成!

いいおかユートピアセンターで9月5日、米粉を使った料理教室が行われ、大人や子ども22人が参加しました。

4、5人ずつ5組に分かれた参加者たちは、講師の用意したレシピを見ながら、米粉を使ったチーズケーキ、ガトーショコラ、蒸しケーキ、シチューのほか、色とりどりの野菜を使ったカラフルピラフなど五種類の料理を手際よく完成させていきました。参加者は「短い時間でたくさんできたね」「きれいな色」「おいしそう」など、その出来映えにも大満足。「ケーキは家でゆっくり味わうの」と笑顔で話す参加者は、形が崩れないよう丁寧にラップしていました。

網戸スターズ快勝

第48回旭市少年野球大会

9月5日、6日に東総衛生組合グラウンドで、市内12チームが参加して少年野球大会が開催されました。初戦から順調に勝ち進んだ網戸スターズは、決勝で干潟メッツと対戦し3対1で勝利。優勝した網戸スターズは、10月24日から行われる少年野球千葉県選手権大会に出場します。なお、最高殊勲選手に伊藤将吾君、優秀選手に加瀬健君、敢闘賞に大橋嗣実君が選ばれました。



▲優勝した網戸スターズ